

平成16年度決算のあらまし

一般会計

歳入 105億2,173万7千円

歳出 100億2,338万1千円

平成16年度一般会計における最終予算額は、歳入歳出それぞれ104億2,479万9千円です。これに対し、歳入決算額は105億2,173万7千円で収入率は100.9%、歳出決算額は、100億2,338万1千円で執行率は96.1%、翌年度へ繰越される額は、4億9,835万6千円となります。

一般会計

会計名	歳入決算額(A)	歳出決算額(B)	差引額(A-B)
一般会計	10,521,737	10,023,381	498,356
国民健康保険特別会計	2,570,075	2,497,885	72,190
老人保健医療特別会計	2,656,481	2,662,298	△5,817
介護保険特別会計	1,731,869	1,686,851	45,018
下水道事業特別会計	2,205,234	2,131,490	73,744
合計	19,685,396	19,001,905	683,491

歳入・歳出決算額(単位:千円)



一般会計 歳入の内訳

歳入

特集

町税

(単位：千円、%)

区分	決算額	構成比
町民税	2,688,591	47.3
固定資産税	2,285,254	40.2
軽自動車税	22,485	0.4
町たばこ税	139,341	2.5
都市計画税	545,215	9.6
合計	5,680,886	100.0

財源区分別表

(単位：千円、%)

区分	決算額	構成比	
自主財源	町税	5,680,886	54.0
	分担金及び負担金	45,285	0.4
	使用料及び手数料	181,014	1.7
	財産収入	18,121	0.2
	寄附金	2,488	0.0
	繰入金	997,739	9.5
	繰越金	663,202	6.3
	諸収入	49,957	0.5
小計	7,638,692	72.6	
依存財源	地方譲与税	134,925	1.3
	利子割交付金	39,293	0.4
	配当割交付金	11,215	0.1
	株式等譲渡所得割交付金	12,529	0.1
	地方消費税交付金	222,118	2.1
	ゴルフ場利用税交付金	25,274	0.2
	自動車取得税交付金	88,559	0.8
	地方特例交付金	269,980	2.6
	地方交付税	59,895	0.6
	交通安全対策特別交付金	6,307	0.1
	国庫支出金	404,363	3.8
	県支出金	427,587	4.1
	町債	1,181,000	11.2
小計	2,883,045	27.4	
歳入合計	10,521,737	100.0	

歳入決算額は、105億2,173万7千円で、前年度に比べプラス5.4%、5億4,113万2千円の増となりました。

歳入の根幹的財源である町税は、56億8,088万6千円で、前年度対比マイナス1.6%、9,494万4千円の減となっており、歳入全体に占める割合は、54%です。減収となった主な理由は、給与所得者の個人所得が減少していることなどによるものです。

国庫支出金は、4億436万3千円で前年度対比14.5%、5,131万円の増となりました。これは、公立学校施設整備に係る小学校費補助金の減などがあつたものの、ダイオキシン恒久対策事業債償還に係る清掃費補助金、史跡の購入費に係る社会教育費補助金、都市再生モデル調査業務に係る総務管理委託金などが増となったことによるものです。

繰入金は、9億9,773万9千円で前年度対比2.7%、2,613万1千円の増となりました。これは主に財政調整基金繰入金などが増となったことによるものです。

地方交付税は、5,989万5千円で、前年度対比マイナス15.5%、1,098万8千円の減となりました。これは、特別交付税が減となったことによるものです。なお、普通交付税は、昨年に引き続き不交付となっています。

町債は、11億8,100万円で、前年度対比51.8%、4億300万円の大幅な増となりました。これは、一色小学校耐震補強事業債などの減があつたものの、町道整備事業債などが増となったことによるものです。



歳出(性質別)

(単位：千円、%)

	区 分	決 算 額	構 成 比
消費的経費	人 件 費	2,829,696	28.2
	物 件 費	2,071,176	20.7
	維 持 補 修 費	58,348	0.6
	扶 助 費	557,125	5.6
	補 助 費 等	436,389	4.4
	小 計	5,952,734	59.4
投資的経費	普 通 建 設 事 業 費	594,075	5.9
	災 害 復 旧 事 業 費	14,337	0.1
	小 計	608,412	6.1
その他の	公 債 費	1,172,665	11.7
	積 立 金	575,086	5.7
	投 資 及 び 出 資 金	492	0.0
	貸 付 金	5,000	0.0
	繰 出 金	1,708,992	17.1
小 計	3,462,235	34.5	
歳 出 合 計		10,023,381	100.0

歳 出

歳出決算額は、100億2,338万1千円で、前年度対比7.6%、7億597万8千円の増となりました。

総務費は、18億7,744万3千円で、前年度対比2.1%、3,809万8千円の増となりました。これは、戸籍業務電算化事業などの減があったものの、町制施行80周年記念関係経費や財政調整基金などへの基金積立金の増などがあったことによるものです。

民生費は、16億534万7千円で、前年度対比17.4%、2億3,806万6千円の増となりました。これは、町民いこいの家改修による町民いこいの家維持管理事業などの減があったものの、障害福祉の施設訓練等支援事業や保育所入所児童委託事業などの増によるものです。

衛生費は、18億1,594万8千円で、前年度対比マイナス0.1%、102万8千円の減となりました。これは、低公害車購入費補助に伴う公害対策事業などの増があったものの、ごみ収集事業やクリーンセンター維持管理運営事業などの減によるものです。

土木費は、16億6,914万2千円で、前年度対比5.3%、8,455万8千円の増となりました。これは、木古庭公園用地取得が終了した公園用地取得事業などの減があったものの、急傾斜地崩壊対策事業や街路整備事業などの増によるものです。

教育費は、9億3,435万円で、前年度対比マイナス20.7%、2億4,332万7千円の減となりました。これは、グラウンド整備実施による南郷中学校施設整備事業や古墳用地購入に伴う長柄桜山古墳調査整備事業などの増があったものの、一色小学校耐震補強工事終了に伴う小学校耐震整備事業や葉山小学校施設整備事業などの減によるものです。

災害復旧費は、昨年10月に発生した台風22・23号による倒木・法面崩落等の被害が発生し、復旧工事を行ったことにより、1,433万7千円となりました。

歳出(目的別)

(単位：千円、%)

区 分	決 算 額	構 成 比
議 会 費	194,470	1.9
総 務 費	1,877,443	18.7
民 生 費	1,605,347	16.0
衛 生 費	1,815,948	18.1
農 林 水 産 業 費	34,005	0.3
商 工 費	118,608	1.2
土 木 費	1,669,142	16.7
消 防 費	587,066	5.9
教 育 費	934,350	9.3
災 害 復 旧 費	14,337	0.1
公 債 費	1,172,665	11.7
諸 支 出 金	0	0.0
予 備 費	0	0.0
歳 出 合 計	10,023,381	100.0

特別会計

(単位：千円、%)

国民健康保険

歳入		
区分	決算額	構成比
国民健康保険料	1,116,514	43.4
使用料及び手数料	8	0.0
国庫支出金	693,410	27.0
療養給付費等交付金	425,962	16.6
県支出金	12,710	0.5
共同事業交付金	56,201	2.2
財産収入	32	0.0
繰入金	256,977	10.0
繰越金	3,140	0.1
諸収入	5,121	0.2
合計	2,570,075	100.0

老人保健医療

支払基金交付金	1,663,017	62.6
国庫支出金	606,540	22.8
県支出金	161,221	6.1
繰入金	168,000	6.3
繰越金	57,660	2.2
諸収入	43	0.0
合計	2,656,481	100.0

介護保険

介護保険料	274,749	15.9
使用料及び手数料	0	0.0
国庫支出金	400,348	23.1
支払基金交付金	539,648	31.2
県支出金	199,574	11.5
財産収入	23	0.0
繰入金	306,508	17.7
繰越金	10,949	0.6
諸収入	70	0.0
合計	1,731,869	100.0

下水道事業

使用料及び手数料	120,451	5.5
国庫支出金	427,000	19.4
県支出金	20,649	0.9
繰入金	1,010,600	45.8
繰越金	195,111	8.8
諸収入	823	0.0
町債	430,600	19.5
合計	2,205,234	100.0

歳出		
区分	決算額	構成比
総務費	51,521	2.1
保険給付費	1,610,999	64.5
老人保健拠出金	615,130	24.6
介護納付金	166,467	6.7
共同事業拠出金	45,396	1.8
保健事業費	7,351	0.3
基金積立金	32	0.0
公債費	0	0.0
諸支出金	989	0.0
合計	2,497,885	100.0

総務費	10,073	0.4
医療諸費	2,615,316	98.2
公債費	0	0.0
諸支出金	36,909	1.4
合計	2,662,298	100.0

総務費	71,598	4.2
保険給付費	1,613,509	95.7
財政安定化基金拠出金	1,475	0.1
保健福祉事業費	0	0.0
基金積立金	23	0.0
公債費	0	0.0
諸支出金	246	0.0
合計	1,686,851	100.0

総務費	234,137	11.0
事業費	1,109,439	52.0
公債費	787,914	37.0
合計	2,131,490	100.0

国民健康保険特別会計

この会計における最終予算額は、歳入歳出それぞれ25億7,000万3千円です。これに対し、歳入決算額は、25億7,007万5千円で、収入率100%、歳出決算額は、24億9,788万5千円で執行率97.2%、翌年度へ繰越される額は、7,219万円となりました。

老人保健医療特別会計

この会計における最終予算額は、歳入歳出それぞれ27億8,744万3千円です。これに対し、歳入決算額は、26億5,648万1千円で、収入率95.3%、歳出決算額は、26億6,229万8千円で執行率95.5%、歳入歳出差し引き額は、マイナス581万7千円となりました。

介護保険特別会計

この会計における最終予算額は、歳入歳出それぞれ17億5,413万9千円です。これに対し、歳入決算額は、17億3,186万9千円で、収入率98.7%、歳出決算額は、16億8,685万1千円で執行率96.2%、翌年度へ繰越される額は、4,501万8千円となりました。

下水道事業特別会計

この会計における最終予算額は、歳入歳出それぞれ23億2,552万6千円です。これに対し、歳入決算額は、22億523万4千円で、収入率94.8%、歳出決算額は、21億3,149万円で執行率91.7%、翌年度へ繰越される額は、7,374万4千円となりました。

町債の状況

1 一般会計

(1) 目的別内訳 (単位:千円)

区分	平成16年度末現在高
総務債	388,210
民生債	274,393
衛生債	245,000
農林水産業債	1,582
土木債	382,881
消防債	557,849
教育債	552,076
減税補てん債	1,214,836
臨時税収補てん債	71,604
臨時財政対策債	1,553,016
特定資金公共投資事業債	0
合計	5,241,447

(2) 借入先別内訳 (単位:千円)

区分	平成16年度末現在高
財務省	2,981,416
総務省	1,009,065
公営企業金融公庫	193,585
神奈川県	9,407
銀行	641,659
その他	406,315
合計	5,241,447

2 下水道事業特別会計

(1) 借入先別内訳 (単位:千円)

区分	平成16年度末現在高
財務省	9,546,308
公営企業金融公庫	1,013,318
神奈川県	86,372
日本郵政公社	237,500
合計	10,883,498

声の「広報はやま」をお届けします

毎月1日に発行している「広報はやま」をカセットテープに吹き込み、町内に在住の目の不自由な人などに無料で郵送しています。

申込み・問合せ 企画課 内線☎333

本をカセットテープで聞いてみませんか

新聞の連載小説や歌壇・俳壇、社協はやま、ご希望の図書類などをカセットテープに吹き込み、町内に在住の目の不自由な人などに無料で郵送しています。

問合せ 町社会福祉協議会

☎875-9889



もうすぐです！！ 日本の人口



調査票へのご記入
ありがとうございました。

- みなさんの調査票は、厳重な管理の下、ただいま集計中です。
- もうすぐ、平成17年10月1日現在の日本の人口がわかります。
- 国勢調査の結果は、少子高齢社会への取組や皆さんのまちづくりにいかされます。

